

[6] 特殊窓のプランニング

壁一面の窓(ガラスウォール)や吹き抜けなどの大型窓は、重苦しくならないように、シアアのカーテンやローマンシェード、パーチカルブラインドを中心にすっきりとまとめます。見せ場の窓ですから、トップトリートメントやサイドトリートメントを組み合わせて額縁的な演出をすると効果的です。サンルームの天窓や傾斜窓は天窓対応のロールスクリーンやローマンシェードを選びます。操作方法を確認することも重要です。

Case 1



依頼のポイント

新築を建てられた60代のご夫婦からのご依頼です。2階まで続く吹き抜け空間で、1階部分は3枚の掃き出し窓、2階部分は3枚のフィックス窓です。ご主人は海外旅行を頻繁にされており、外国で見るような大胆な窓辺にしたいとのこと要望をいただきました。また生地にもこだわりがあり、クオリティーの高い大柄のストライプ調をご希望でした。

プランニングのポイント

大胆な窓辺を演出するために、吹き抜け空間の天井から床まで、約6mのカーテンを掛けることに。ドレープには風通織の合わせ部分に麻糸で縦に波模様が入った、巾270cmの生地を使用。シアアにはパープルを合わせて、外から入る光を和らげました。センター部分が美しく垂れ下がるよう計算して、それぞれのカーテンの裾を斜めに仕立てています。また、カーテントップは空間に負けないボリュームを出すため、ゴブレットプリーツで仕上げました。



Case 2

依頼のポイント

50代のご夫婦から、ステンドグラスの教室を開くサンルームに設置された天窓の装飾を依頼されました。機能的な面では、暑さ対策として日差しを遮りたいというご要望があり、さらに予定していたスペースに植物が植えられなくなってしまったので、窓まわりで自然を感じられるような空間にしたいとのことでした。

プランニングのポイント

日差しを遮り、植物のイメージを喚起するために、遮熱レースと美しいグリーン草木模様が入ったレースの組み合わせをご提案しました。草木模様が影となってステンドグラスの作業の邪魔にならないか、実際に生地を持ち込んで慎重に検討しました。また同室の掃き出し窓にはグリーングラデーションのパーチカルブラインドを選び、自然に包まれたような空間を演出しました。



Case 3

依頼のポイント

依頼された物件は、30代のご夫婦とお子さまの3人が暮らすログハウス。子ども部屋に設置された変形ドレーキップ窓という特殊な窓でした。ご夫婦のお好みは天然素材と色鮮やかなインテリア。単調な装飾ではなく、子どもが友達と一緒に楽しく遊べる部屋、元気になるような部屋にしたいというご要望でした。

プランニングのポイント

竣工から10年を経たログハウスだったため、経年変化したログに映える色を検討。プロヴァンス風の淡いピンク系をセレクトしました。デザインは子どもたちが楽しんで遊べるように運動会の旗をイメージ。内倒し窓なので開閉の邪魔にならないよう、また後からブラインドなどを追加できるように、窓自体にバランスレールを取り付けました。

